

図書館からのお知らせ

～今月のおすすめ本～

『ぼくは明日昨日のきみとデートする』

七月隆文著

主人公が一目惚れした彼女には大きな秘密が隠されていた…淡く切ない男女の運命を描いたピュアな恋愛小説です。

『人生がときめく片づけの魔法』

近藤麻理恵著

米国「TIME」誌で、世界で最も影響力のある100人に選ばれたNo.1ベストセラーです。この本を読んで「人生が劇的に変わった」という人が続出しているそうです。

『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』

くさばよしみ著

南米ウルグアイの大統領が、環境悪化について話し合われた国際会議で行ったスピーチが多くの人々の心を打ちました。

自国の利益ばかりを主張するのではなく、本質を突いたその言葉からは公正で誠実な人柄がうかがえます。

和紙の里

東秩父写友会

一花の中の写真展

を開催しますー

色とりどりの花が咲き誇る

早春の白石地内において、東秩父

写友会主催の「花の中の写真展」を開催します。

皆さまのお越しをお待ちしています!!

開催期間 4月3日(日)～24日(日)

場所 白石地内 橋本宅前

問合せ 東秩父写友会会長 栗島光政 ☎82-0178

みんなの
ページ



みどりの杜俳句会

文

芸

白石短歌会

- | | |
|---------------------------|---|
| 風花や街道に出て空仰ぐ
高橋 きみ | 残雪の山を見上げて今朝の庭
根岸みね子 |
| 土手道にまだ蕾なり福寿草
富田 とり | 立春や息子と並び野を歩く
安藤 とき |
| 夕暮れの窓にうつりてスイートピー
大久根ケフ | 立春や白きタオルを庭に干す
江口 昭子 |
| グランドを巡りて円く草萌ゆる
江原 リウ | 潜り戸を入るや圍炉裏に火の燃ゆる
野口利江子 |
| 福寿草一かたまりや黄の強し
土屋 寿子 | 猫柳赤き皮つけ膨らめり
関口 侑子 |
| 雪止むや鹿樹皮をはぎ幹なむる
河西カナメ | 朝靄に村中の木木芽吹くかな
千野さき子 |
| 夜中降り皆出でて見る今朝の雪
飯野 トヨ | 三色の餅花飾り願かくる
関口 真吾 |
| 落味噲のにがみの強し母の味
馬場 芳 | 雪の間に日の射し落のたうみどり
小宮 勉 |
| 道端に雪のかたまり尚解けず
飯野はつ志 | 光りつつ雪解け水の川に入る
岡部富美子 |
| 庭先に日毎ふくらみ落のたう
杉田 静枝 | 畑脇にかたまり咲きや福寿草
土屋 厚子 |
| 風の吹き花散る様に雪の散る
鈴木 啓子 | 朝日射し枝より粗目雪落つる
初雁 功子 |
| 朝寒しデイケアに来て昼の風呂
高橋 ツ子 | 白き富士仰ぎわが子の卒業す
高野 利雄 |
| 落のたう刻みおじやに散らしけり
山崎 ひろ | 友の計の届く夕べや雪しづる
山田 美子 |
| | 春雨に洗われきんかんは黄緑
まして
実りゆたかに採取たのしみ
渡邊 京子 |
| | 若き日の極彩色の夢を見て
覚めてもしばし心がはずむ
渡邊美枝子 |
| | 満開の梅に目白が蜜を吸ふ
幾十羽もの群枝を揺らして
坂本 美江 |
| | 大雪にすっぽり静もる山里に
除雪の重機の明るい響き
白石 礼子 |
| | 枯草を分けみずくし落の臺
今年も出合えぬくもり貫う
渡邊阿里子 |

